

2024 年度

授業概要

科目名		言語療法特論			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	30回	時間数	60時間	(2単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
言語聴覚士に必要な知識を整理する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
ポイント講義を通じて言語聴覚障害学全般の理解と感心を深める。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
言語聴覚士として必要な基本的姿勢と態度・知識・技術を身に付ける。									
回数	講義内容								
1	オリエンテーション								
2	専任教員によるポイント講義（1）								
3	専任教員によるポイント講義（2）								
4	専任教員によるポイント講義（3）								
5	専任教員によるポイント講義（4）								
6	専任教員によるポイント講義（5）								
7	専任教員によるポイント講義（6）								
8	専任教員によるポイント講義（7）								
9	専任教員によるポイント講義（8）								
10	専任教員によるポイント講義（9）								
11	専任教員によるポイント講義（10）								
12	専任教員によるポイント講義（11）								
13	専任教員によるポイント講義（12）								
14	専任教員によるポイント講義（13）								
15	専任教員によるポイント講義（14）								
16	専任教員によるポイント講義（15）								
17	専任教員によるポイント講義（16）								
18	専任教員によるポイント講義（17）								
19	専任教員によるポイント講義（18）								
20	専任教員によるポイント講義（19）								
21	専任教員によるポイント講義（20）								
22	専任教員によるポイント講義（21）								
23	専任教員によるポイント講義（22）								
24	専任教員によるポイント講義（23）								
25	専任教員によるポイント講義（24）								
26	専任教員によるポイント講義（25）								
27	専任教員によるポイント講義（26）								
28	専任教員によるポイント講義（27）								
29	専任教員によるポイント講義（28）								
30	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
言語聴覚士テキスト 第3版					大森孝一ほか		医歯薬出版株式会社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。									